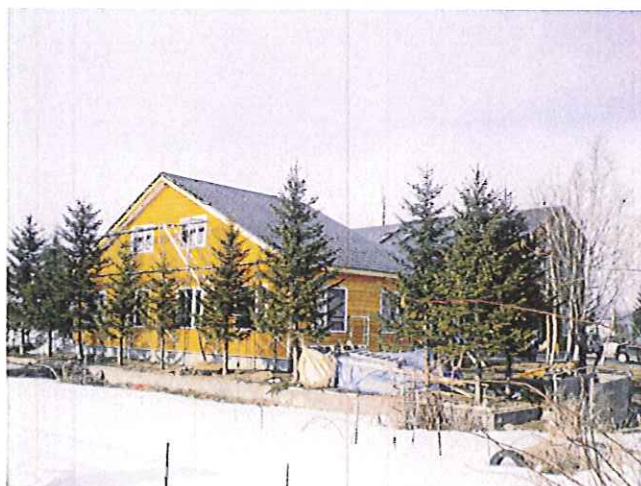


マネージメント情報

※事務所増築しています。

現在、新年度より獣医師が2名増員する事にもない事務所の増築中です。若干ウナギの寝床の様を呈していますが、二階建てで一階には獣医師のスペース(5名分)の他 PCR 検査を行う検査室を新設し二階部分にはしばらくはそこにいるであろう新人獣医師用の部屋が二つあります。予定よりは若干遅れ気味ですが来週中には完成し各獣医師の引っ越しがあり、再来週にはピカピカの新人獣医師が赴任します。

帯広畜産大学の住谷君、東京農工大学の奥君ともに 3/16 に発表のあった獣医師国家試験に見事合格しました。



※長時間の停電があった時の搾乳について

東北関東大震災はまさに未曾有の大惨事で、毎日毎日その様子が報道されていますが心が痛むばかりです。

私が経験した一番大きな地震は平成6年10月にあった北海道東方沖地震です。

確か1日半程度の停電がありその間全く搾乳ができない状況でした。当時はまだ現在のようなフリーストールの大規模農場は少なく大きくてもせいぜい100~150頭規模で、繋ぎ飼いのタイストール牛舎が主体でした。

その時の農場の搾乳の対応ですが、頑張って全頭手搾りで搾乳をした農場と諦めて搾乳を全くしなかった農場とありました。

結果は諦めて搾乳をしなかった農場の方が問題は少なく、牛の事を思い本当に頑張って手搾りで搾乳をした農場は直後に乳房炎が多発しました。ミルク搾乳に慣れた高必乳牛にとっては、手搾りで搾乳をするという事は時間がかかりすぎ、また搾乳者も途中で握力が無くなりちゃんとした手搾りもできなくなる事など想像以上に牛にストレスをかけるのだと思います。

今でも全頭手搾りをした方が手の平と甲から腕にかけてサロンパスだらけにして診療所に来て、「もう全然手がうごかないんだあ〜」と言っていた事を思い出します。

というわけで、長時間にわたる停電時には搾乳はしない方が正しいという事を覚えていて下さい。